

走りの質をさらに高める空力性能。

■空力性能 — 燃費に寄与する低CD値と操縦安定性を高める前後空力バランスの両立 —
空力に有利な流れるようなプロポーションに加え、各部の形状を工夫することで空気抵抗を低減。さらに、前後の揚力バランスを適正化することで、低燃費化と中高速域の操縦安定性向上に寄与しました。

空気抵抗の低減

フロントバンパーコーナーの形状を工夫し、サイドヘスムーズに風を流すことでホイールハウス後方に発生する乱流(サイドウェイク)を低減。また、フロントピラーのドリップモールを広くし風の剥離を抑えました。さらに、床下を大型アンダーカバーで平滑化するなど、徹底的な空力処理によって空気抵抗を低減しました。

前後揚力バランスの適正化

テールゲート後端の高さを適正化するとともに一体型リップスポイラーを採用。車両後方への風の吹き下ろし(ダウンウォッシュ)を抑え、空気抵抗と揚力を効果的に低減しました。



□主な空力性能向上技術

